

令和4年12月9日

智頭町議会議長 谷口雅人様

同和問題調査特別委員長 大河原 昭 洋

委員会調査報告書

本委員会の調査事件について調査を実施したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和4年11月15日（火）

2. 場 所

鳥取県米子市東福原8-27-1 「鳥取県米子市産業体育館 メインアリーナ」

3. 内 容

全国水平社創立100年の節目の年に人権と平和、民主主義、環境の確立をめざす協働の取り組みをすすめるとともに、部落解放運動を前進させ、あらゆる差別の撤廃にむけた新たな歩みをすすめよう

演題：「水平社100年とこれからの部落解放運動」

～格差と社会的排除が覆い被さろうとする社会からの転換～

講師：部落解放同盟中央書記長 赤井 隆史 氏

4. 目 的

同和問題の現状やその解決策についての理解を深め、議員の立場で取り組むべきことを再確認し、今後の議会活動及び議員活動に資する。

5. 派遣委員

仲井 莖 議員、西尾 寿樹 議員、岡田 光弘 議員、宮本 行雄 議員、田中 賢 議員、
谷口 翔馬 議員

6. 所 感 等

水平社が創立されて100年経つが、いまだに部落差別の問題は、解消されていない現状がある。重大な人権侵害の問題である。人間一人ひとりの人権、尊厳が守られる社会をつくっていくこと、行動していくことが重要であると学んだ。

「部落差別解消推進法」は制定されているが、概念として、差別しても何も罰則規定のない法律では、本当に差別解消につながるのか疑問である。

現代のネット社会においては、今後この問題にどのように取り組んでいくのか、最後は、自分自身の心の問題であり、何をどのように行動するかが問われていると感じた。

部落解放研究全国大会に参加し、議員として発言や行動に責任を持ち、差別を見逃さない、絶対に許さないという気持ちで、部落差別をはじめ、あらゆる差別解消にむけて活動をしていきたい。